

大阪府子どもの生活に関する実態調査の回答結果集計（単純集計）について（概要）

1 調査目的及び公表事項

大阪府では、子どもたちが積極的に自分の生き方を選択し、自立できるよう様々な施策を実施していますが、今後、効果的な子どもの貧困対策を検討するため、小学5年生・中学2年生とその保護者を対象に調査を実施し、その回答結果の単純集計を行い、公表しました。

今回の調査で得た結果については、今年度中に「小学生・中学生の回答結果」と「保護者の回答結果」を合わせて分析し、庁内関係課で協議を進め、大阪府子ども施策審議会子どもの貧困対策部会の委員の意見を踏まえ、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検証します。

なお、本調査については、13市町（※参考）においても府と共同により調査を実施していますが、府が公表した集計結果は、この13市町を除く地域のものであります。

分析にあたっては、クロス集計を行いながら、共同実施市町の結果と合わせて府全域で行い、今年度末に結果を取りまとめる予定です。

- 今回の公表事項：（1）小学生・中学生向け調査票 回答結果集計（単純集計）
 （2）保護者向け調査票 回答結果集計（単純集計）
 （3）子どもの生活に関する実態調査 調査票（小中学生・保護者）

※参考：13市町

7・8月実施：大阪市、門真市、八尾市、豊中市

9月実施：吹田市、能勢町、枚方市、交野市、柏原市、富田林市、大阪狭山市、
和泉市、泉佐野市

2 調査対象、調査方法および実施期間

調査対象：小学5年生・その保護者（4,000世帯）

中学2年生・その保護者（4,000世帯）

調査方法：13市町を除く地域の住民基本台帳より無作為抽出した8,000世帯に対して、調査票を郵送し、回答を得たもの。

実施時期：平成28年7月1日～7月19日

回収率：小学5年生	34.2%	（回収数1,369人／配布数4,000人）
小学5年生の保護者	34.3%	（回収数1,373人／配布数4,000人）
中学2年生	30.3%	（回収数1,213人／配布数4,000人）
中学2年生の保護者	30.5%	（回収数1,218人／配布数4,000人）

※保護者票のみの回答があったため、小中学生の回収数と保護者の回収数に差が生じています。